

「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書

東京都八王子市立楳原小学校

○学校の概要(平成15年4月現在)

八王子市楳原小学校									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	0	12	17
児童数	47	48	45	46	53	47	0	286	

1 本年度当初の本校における「総合的な学習の時間」の課題について

①総合的な学習の全体計画等の作成とその改善工夫について

- ・ 全体計画、年間指導計画をより各教科との関連を図ったものとする

②総合的な学習の時間における学習の評価について

- ・ 児童のよさを伸ばす総合的な学習の時間における評価の観点について

- ・ 総合的な学習の各学年評価規準の作成にむけて、各教科の評価計画を見直す。

③総合的な学習の時間の指導の工夫について

- ・ 小学校、中学校、高等学校との連携を図った「総合的な学習の時間」のあり方

※ 特に近接していない学校同士が浅川という自然条件を通じてどのように連携していくことができるかを追究していく。

2 モデル地域校としての研究主題の受け止め

[本校における研究主題の受け止め]

本校は平成13・14年度において東京都八王子市教育委員会研究協力校として、「自分で課題を見つけ、生き生きと取り組む子」(地域の自然を生かし、体験を通して進んで学ぶ子)をテーマとして「総合的な学習の時間」の充実を図った。その結果、各学年の実態に応じて地域教材を開発し、児童が進んで課題を追究し「生きる力」を育んでいく学びの姿が定着しつつある。

本モデル地域研究指定校を受けることにより中学校・高等学校と連携し、より地域での実践活動が充実すると考えた。

本校においては、昨年度までの研究の成果をもとに

研究テーマ「自分で課題を見つけ、生き生きと取り組む子」
～地域の教材を生かした授業づくり～

を研究テーマとし、各学年において、各教科・領域での地域教材の開発と小・中・高の連携により地域環境や人材の共有化を図る授業実践を充実することとした。

3 平成15年度の取組内容

本校の研究テーマに基づき、各学年において、地域教材を活用した様々な授業を開発 実践することができた。

1・2年生「生活科」 一 楠原探検、虫探し、浅川探検

3年生「総合」「社会」 一 楠原探検、地域の人々の生活、梅原の昔調べ

4年生「総合」「社会」 一 もっと知ろう、楽しもう、北浅川 雑木林の活動

5年生「総合」「理科」 一 流れる水の働き(浅川筏下り)

6年生「総合」 一 共に踏み出そう、青い地球をより青く(浅川清掃)

[小・中・高連携による授業の成果]

上記の授業の中で、特に4年生、5年生の授業においては高等学校の先生を講師に招き、地域公開授業として授業を地域へも公開した。

また、6年生の授業では、小・中・高校の児童・生徒が浅川の自然に対する思いをもとに・合同授業・清掃活動等を実施した。

これらの実践を通して、子どもたちは、「地域の中で学ぶ」「地域の人から学ぶ」ことの大切さを感じるとともに、日頃は接点の少ない児童・生徒であるがそれぞれに共通した思いや願いのもとで発達段階に応じた課題追求がなされた。

4 平成16年度の取組について

・ 小・中・高校での連携が可能な単元について、事前に教育課程に位置づけた計画を作成する。特に2回の合同発表会の日時を年間計画に位置づける。

・ 小・中・高校連携の活動で今年度は地域の自然環境「北浅川」での学習が中心となつたが、次年度においては地域の人的環境、文化環境を含めた多方面での連携をさらに深める。

総合的な学習の時間全体計画 (橋原小学校)

- 子どもの実態
 - ・素直で伸び伸びしている。
 - ・物事のけじめがつけられない。
 - ・継続的発展的な学習が苦手。
- 教師の願い
 - ・基礎基本を定着させたい。
 - ・多くの人々との関わりを持たせたい。
 - ・学び方・考え方を身につけさせたい。

- ◎ 学校の教育目標
- ・明るく健康な子
 - ・よく考えすんで学ぶ子
 - ・豊かな心と思いやりのある子

○総合的な学習の時間のねらい(学習指導要領)

- (1)自ら課題を見つける、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- (2)学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようになる。
- (3)各教科で身に付いた知識や技能を相互に関連付け、それらを学習や生活に生かし、総合的に働くことができるようになる。

全校での共通理解事項

○各教科、道徳、特別活動のねらいと総合的な学習の時間のねらいを関連づけながら学習過程を組む。

○意図的・計画的に活動や体験の場面を設定する。

○児童の活動を認め、励まし、価値づけることで、支援する。

本校の総合的な学習の目標

○自分で課題を見つけ、生き生きと取り組む子 ～地域の自然を生かし、体験を通して進んで学ぶ～

学年の目標

3年	4年	5年	6年
<ul style="list-style-type: none"> ・生活中から課題を見つける、さまざまな方法で調べることができるようにする。 ・地域に愛着を持ち、学んだことを自分の生活に生かすことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で見つけた課題について、目的にあった方法で調べることができるようにする。 ・さまざまな人との交流を通して、多様なものの考え方や生き方があることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を見出し、計画的に追究できるようにする。 ・自ら価値ある課題を見出し、学習計画を立てて追究することができるようになる。 ・自分の生活を振り返り、これから自分の生き方にについて考えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら価値ある課題を見出し、学習計画を立てて追究することができるようになる。 ・自分の生活を振り返り、これから自分の生き方にについて考えることができるようになる。

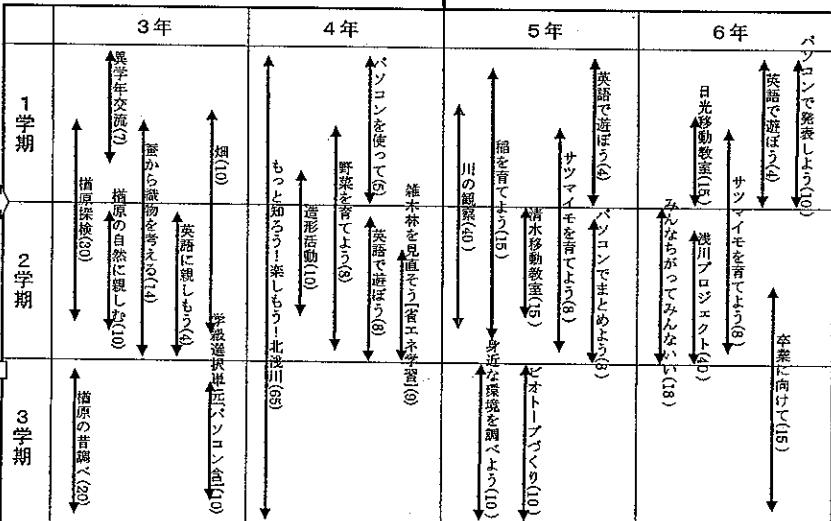
内容・単元 ()内数字は時間数のめやす

関係機関との連携

- ・地域在住の環境学習リーダー
- ・浅川の付近在住の有識者
- ・市役所環境部
- ・リサイクルセンタ一関係者
- ・ゴミ処理場とその関連施設関係者
- ・処理場関係者
- ・八王子市社会福祉事務所職員
- ・八王子市社会福祉協議会職員
- ・老人ホーム
- ・手話教室学校派遣委員会
- ・盲導犬センター
- ・JoyProjectの方
- ・学校評議員
- ・PTA関係者・保護者
- ・市立四谷中学校
- ・都立八王子北高校

特別活動・学校行事、道徳との関連

【学校行事】
・行事のもつ意味を知り、児童が主体的に行事に参加し、社会の一員としての自覚を深め、豊かな心を育成する。
清水・日光移動教室
【特別活動】
・集団活動に主体的に参加し、よりよい生活を築く実践力を育てる。
【道徳】
・価値を主体的に自覚させていくことを通して、自己を見つめ、人間としてのより良いあり方、生き方を追究する。
・身近な自然に親しみ動植物に優しい心で接する。
(1・2年)
・自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。
(3・4年)
・外国の人々や文化を大切にする心をもつ。
(5・6年)



評価規準

観点	3・4年	5・6年
問題提起を解決する力を解決	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を選ぶ。(決める) ・自分や友だちのよさを見いだす。 ・経験や体験を通して、学習の方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を決め、修正しながら追究する。 ・体験を通して、自己の課題を深める。
主体的・創造的な態度	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで学習対象と関わろうとする。 ・自分にとって価値のあることを見つける。 ・友だちと協力して課題を解決する。 ・工夫してまとめる。 ・身近な人に話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の意見を参考しながら、学習の方向を修正しようとする。 ・相手の意図をつかみながら話を聞く。 ・集めた情報を効果的に活用する。 ・自分の考えを取り入れてまとめる。
学び方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを発表する。 ・自分なりの調べ方を考える。 ・計画を立てて調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と友だちの考えを比較する。 ・課題解決までの道筋を予想する。 ・人や自然に関わりながら、必要な情報を集める。 ・学習した成果や課題をつかむ。
自己の生き方	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活に思いや願いを持つ。 ・自分の思いや願いを友だちと話し合う。 ・学んだことを生活に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友だちの活動をもとに、新しい課題を設定する。 ・自分の生活を見つめ直し、将来の夢や希望を持つ。

めざす授業像

- 自分で追跡できる課題を見つけるように柔軟な活動計画を立てる。
- 人との関わり合いの中で学ぶことができるよう、進んで地域にてて体験することを重視する。
- 計画をもとに工夫して自分の課題解決を図るよう見通しを持たせる。
- 集めた情報をもとに、自分の考えを分かりやすく表現できるようにプレゼンテーション能力を育成する。

内容・単元の関連

- | | |
|-------------|---|
| 【国語】 | <ul style="list-style-type: none"> ・大事なことを落とさず聞く。 ・スピーチの仕方(3・4年) ・メモを使って発表(5年) ・立場を決めて討論(6年)・身近な環境を考えよう(5年) |
| 【社会】 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域調べ(3年) ・健全な生活を守る(4年) ・森林資源を守る(5年) ・環境と公害(5年) ・身近な暮らしと政治(6年) |
| 【理科】 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の植物調べ(3年) ・季節と生き物(4年) ・流れる水の働き(5年) ・生物とその環境(6年) |
| 【家庭】 | <ul style="list-style-type: none"> ・健全な生活(5・6年) ・家族の役割(5・6年) ・よりよい家庭生活(5年) |

教科との関連(重点のみ)

- | | |
|----------------|---|
| 【国語】 | <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じ、調べたことを筋道を立てて話す。 ・主題や要旨を考えて整理して文章に表す。 ・相手や目的に応じて、表現方法を工夫する。 |
| 【社会】 | <ul style="list-style-type: none"> ・観察、聞き取りなどの調査を行い、予想を確かめる。 ・地域社会の一員としての自覚や地域に対する愛情をもつ。 ・地図や絵地図を効果的に活用する。 |
| 【理科・算数】 | <ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験等により得られた情報を図やグラフにまとめる。 ・比較・関係付けなどを考えて考える。 |
| 【図工】 | <ul style="list-style-type: none"> ・廃品を活用して、作りたいものを形にする。 |
| 【家庭】 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携により、児童が身に付いた知識と技能などを日常的に活用しようとする。 |
| 【体育】 | <ul style="list-style-type: none"> ・体や健康について感心を持ち実践に生かす。 |

評価方法

○活動観察	○作品分析	○リーキート等	○聞き取り	○意識調査
<ul style="list-style-type: none"> ・調査活動 ・役割、発言 ・準備の進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・まとめ作品 ・ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価 ・相互評価 ・外部評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題設定の理由 ・学習計画 ・まとめ方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前、事後 ・変容分析 ・関係機関等

○時間割編成を工夫し、学年合同の時間が組めるようにする。
○地域・保護者への協力依頼を計画的に行う。
○指導計画や資料等はファイルし、学校財産として保管する。
○各学年の軸となる単元と発展させた単元を年間計画に組み合わせる。

その他